

東海産科婦人科学会雑誌

論文投稿時のチェックリスト

論文名： _____

A. 筆頭著者が以下の部分をチェック・記載してください。

- 投稿時に該当するものにチェックしてください。
- 投稿規定を熟読し、それに従って執筆しました。
- 投稿規定の著しい逸脱がある場合は、Editor Reject となることを了承しました。
- 筆頭著者は論文作成に当たり、共著者の中の責任者の校閲を受けています。
- 他誌に未発表であり、投稿中でもありません。
- 写真や図表は PowerPoint で見やすいように作成しました。
- 利益相反の有無について、公益社団法人日本産科婦人科学会「利益相反に関する指針」に準拠して、文末に明記しました。

本論文に関して筆頭著者の 利益相反なし 利益相反あり

(開示すべき利益相反が‘有’の場合は雑誌編集部まで事前にご連絡ください)

個人情報の保護に関して細心の注意を行い、本論文を執筆しました。

* 掲載論文は「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に準拠し、該当する場合には倫理委員会の承認あるいは患者の同意を得たことを本文中に記載する必要があります。

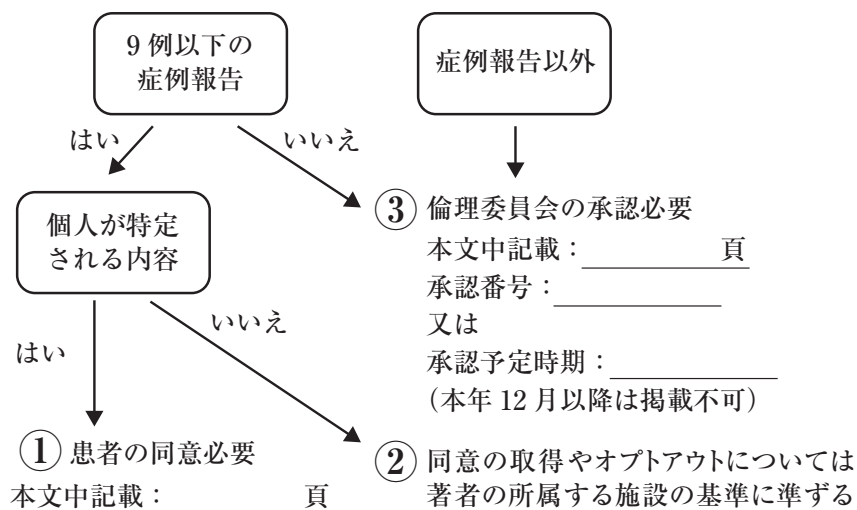
症例報告は『人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針』において概ね「研究」の対象外となります。ただし、その場合には『改正個人情報保護法』が適用されるため、個人が特定されないよう配慮するとともに、稀な症例報告である場合や匿名化が困難な場合には患者の同意が必須です。同意を得たことについて本文中に記載が必要になります。

通常の診療以外の目的を有する場合は『人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針』の規定する「研究」に該当します。そのため、『人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針』に基づき、当該施設での倫理委員会の承認を取得してください。

9例までのケース・シリーズの記述的研究は、原則として症例報告と同様に扱います。ただし、後ろ向きに診療録を調べるような内容でも、対象群と比較するものや通常の診療行為を超えるもの等は「研究」の範疇に入ります。報告の内容に合わせて、対象患者の同意を得るか、倫理委員会の承認を受けてオプトアウトの機会を提供するなどの対応が必要です。

次頁のアルゴリズムに沿って上記を確認、必要事項を記載し、①～③の該当する番号を下に記載してください。①～③にあてはまらない場合は「その他」と記載し、内容を追記してください。

該当番号： _____



私（筆頭著者名： _____ ）は上記の記載に間違いがないことを確認しました。

西暦 _____ 年 _____ 月 _____ 日 本人署名 _____

B. 共著者の中の責任著者（Corresponding author）が以下の部分を記載してください。

• 投稿時に該当するものにチェックしてください。

- 投稿規定に従って執筆された論文であることを確認しました。
- 本論文における共著者の中の責任著者として校閲（てにをは、文脈）を行いました。
- 投稿規定の著しい逸脱がある場合は、Editor Reject となることがある旨を了承しました。
- 本論文は、個人情報の保護に関して細心の注意が払われていることを確認しました。
- 本論文内容は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に準拠していることを確認しました。

私（共著者の中の責任著者名： _____ ）は投稿前に本論文を熟読し、指導したことを誓います。

西暦 _____ 年 _____ 月 _____ 日 本人署名 _____